



### THORNG Vorlak (トン・ヴォレアーク)

ថ្មីចានថាង អលកូណ៍តំណាងឲ្យ  
ប្រជាពលរដ្ឋខ្មែរស្រុកពាយ័ក  
សូមគោរពនិងគុណបងស៊ី មីតា  
និងអង្គការស្នូលអភិវឌ្ឍន៍សេដ្ឋកិច្ច  
ស្រុកស្វមីព្រៃណាកន្ត្រីបងស៊ី មីតា  
បានទៅកាន់សុភវិភាគនិងបែរខ្លួនឲ្យពលរដ្ឋសេរីមង្គលផល  
យើងខ្ញុំ  
ទាំងអស់។

私はトン・ヴォレアークと申します。  
すべての市民とこのピムロー地区の代表として、教育施設の建設を通じてカンボジアの教育の推進に大きく貢献して下さった School Aid Japan と住田先生に感謝します。

最後に、住田先生のご冥福を心からお祈りします。

THORNG Vorlak



### 内務省アドバイザー KAO Bun Song (カオ・ブンソン)

「アンコール地域のために貢献していただいた功績」

カンボジアでは、30年近く続いた内戦は終わりましたが、国内の状況はキリングフィールド時代のゼロ以下にまで落ちてしまい、インフラや知識人の不足は深刻でした。農業分野でも、強制労働による衰弱、病気、飢えなどで多くのひとびとが命を落としました。

日本政府からは、カンボジアの平和と発展のため、インフラ整備、保健医療、給水設備、洪水対策などの無償援助をしていただき、これによってカンボジアの人々の生活の再出発ができたと考えています。

さらに、SAJの住田先生のお力添えで、人材育成のために数多くの校舎を建設し、また貧困のために通学困難な子どもたちを支援する奨学金制度を作ることができました。

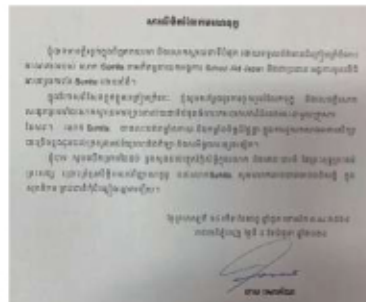
私はボランティアでドライバーを勤め、長年にわたり住田先生とともに各地の調査に同行し、その際、先生から様々なことを勉強させていただくことができ、深く感謝しております。カンボジアの子どもたちのために、先進国の国民である先生は、愚痴一つこぼさず、各地域の人々と接し、その地の食べ物をみんなとともに食べ、懸命に活動されました。子どもの数の増加に応じて、不足してきた校舎についても、各地域の住民や保護者の要望に応じて増やしていただき、数千人が通学可能となりました。その子どもたちも、いまや立派な社会人となり、自分たちの家族などを養っています。私は住田先生を実の兄と思い、尊敬をしています。

この世で出会った人とは、いつか必ず別れが訪れるのもまた定めです。けれども、この度の突然の訃報に接して、お兄さんとの永遠の別れが訪れたことをいまだに信じられない思いです。今後は、お兄さんが私に教えて下さった「熱意と道徳」を、忘れることなく、カンボジアの子どもたちに伝えて参りたいと思います。

カンボジアで数百に上る多くの学校建設の支援に献身した SAJ とお兄さんの偉大な功績に敬意を表します。お兄さんが亡くなって、その行いと名譽は多くの子どもたちと私たちの心の中に残っております。

カオ・ブンソン  
内務省アドバイザー

### 教育省 NGO担当Director CHAP Sophorn (チャップ・ソフォン)



SAJの元事務局長住田平吉様であり、SSFCの代表理事である住田平吉様が亡くなったお知らせを受けた時以後、私は深く悲しんでいます。

この深い悲しみの中から、ご家族へのこの大きな損失に心からお悔やみを申し上げます。

住田先生はいつも体力的に、そしてマインドフルネスに、教え方の指導や、奨学金給付、教育施設の建設を通じてカンボジアの教育のために、献身的に尽くされました。

最後に、住田先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。

以上  
2020年6月4日  
チャップ・ソフォン

# Supporters (支援者の皆様より)

### 大江電機機 代表取締役 SSFC 理事 大江 光正

故住田平吉様 住田先生、天国でも子供たちの未来に寄り添い、優しく・厳しく指導を続けているのでしょうか。カンボジアの子供たち、怖い住田さんに叱られ良く涙を流していました、優しい住田さんに褒められて目が輝いていました。常に真剣に子供たちと向き合う住田先生を本当の親のように感じていたと思います。

住田さんが弊社にご来社いただいたのは10年以上前になります。地元横浜で小学校の校長先生をお勤めだったことから話しが弾みましたが、正直「一目ぼれ」して「何でもお手伝いします」と約束したのが、私がカンボジアに関わるきっかけでした。カンボジアにご一緒したのは十数回になりますが、カンボジアの教育現場を変えたいとの思いを貫かれ、ご自身が納得できるまで細かい交渉を続け一つ一つの事業を確立されてきました。カンボジア政府の要人の方々からの信頼も厚く、教育者住田として認められていたのだと思います。

SSFCを立ち上げ、現場の先生方に授業の質を高める指導を始められ、まだ「これから」とお話しされていただけに無念だったと思いますが、指導を受けた先生方を中心にカンボジアの教育現場は確実に変化をしてくれています。

里子サルーンは医学大学の4年生になりました。彼をカンボジアの人達に役に立てる医者にさせます。スレイピボケ地域での教育支援を続け、スレイピボケ高校を開校させます。住田先生との約束を果たし、私が報告に伺った時には笑顔で迎えてください。

住田先生との出会いに感謝し、追悼の言葉といたします。

### 大江電機機 境野 舞子

カンボジアの生徒に「勉強をしてください」と魂のこもった授業をされ、エネルギーで年齢を感じさせない方が、あれから半年もたたずに逝ってしまったのかと信じられない気持ちでいっぱいです。心よりご冥福をお祈りします。



### 大江電機機 沈 思好

住田先生は太陽のような人でした。どんな存在に対しても、変わらず明るく輝き、明るさを与えていました。今、自分にできることを確実にやるのが夢や目標実現につながります。前向きに取り組む姿勢だけでなく最後までやり遂げる力を会った住田先生に教えていただきました。安らかな旅立ちでありますよう、心よりお祈り申し上げます。

### 大江電機機 阿南 宏司

プロの教育者として培ったキャリアを日本の教育現場に留まらず、カンボジアの将来へ向け生涯を懸けて身体と魂を寄せ続けたその姿が、私にとってはとても大きな姿に映り、憧れの存在として今もしっかり心に留まっています。『一生懸命勉強するんだヨ!!!』カンボジアの子供達に大きな声で呼びかけていた住田さんの背中を、これからも追いかけていきます。

### ベレ・グレイス機 代表取締役 佐藤 永次 佐藤 知己

いつもお元気で年齢を感じさせないくらいエネルギーに日本とカンボジアを行き来していらした先生がお亡くなりになったということ、あまりにも突然のことでしばらく信じることが出来ませんでした。住田先生の存在は、私たち夫婦にとって、かけがえのないもので、とても大きな存在でした。先生との出会いは、私の父が亡くなった3年後くらいだったと記憶しています。昭和14年生まれのお父、昭和15年生まれの先生。年代もほぼ一緒、私の父も先生と同じ教育者であったので先生には亡き父を感じることも多くありました。純粋に心から子供たち、学生たちを愛していた姿は私の父と同じでした。先生から学ばせていただいたことはたくさんあります。私がいつもすごいなー!!と思っていたのは、先生は、常に未来を見ていたこと、そして大きな夢をお持ちでいらしたということです。

人は年齢を重ねていくと、「あの時はどうだった」とか「あの時はよかった」と、昔を懐かしみ、昔話をされる方がとても多いように感じるのですが、先生は違いました。いつお会いしてもこれからの事、これから先のカンボジアの子供たちの未来についてとても楽しそうに生き生きと熱く語られていらっやいました。80歳を目前としながらも更に新たなことへ挑戦されようとしていたお姿は本当に素晴らしく、私は心から尊敬しておりましたし、同時に大きな刺激を頂いたことを今でもはっきり覚えております。

先生の生き方から「もう年だから・・・」なんて年齢を言い訳にするなんて、とんでもないこと!!自分で限界を決めない。そして、いくつになっても情熱をもって、夢を持つことの大切さを学ばせていただきました。

今年も来年も再来年も・・・先生とカンボジアへ一緒出来るものと思っておりますので、悲しくて残念でなりません。でも、先生の思いを引き継ぎ、カンボジアの教育発展のため、微力ではありますが、これからも支援させていただきます。住田先生本当にありがとうございました。私たちは先生をずっと忘れません。

